

福 祉

(文部科学省検定済教科書)

種 目	発 行 者		教 科 書 の 記 号 番 号	判 型	総ページ数	検 定 済 年
	番 号	略 称				
社会福祉基礎	7	実教	福祉 701 ◆	B 5	246	令和 3 年
介護福祉基礎	7	実教	福祉 702 ◆	B 5	202	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

社会福祉基礎		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教701		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【福祉の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【社会福祉基礎の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【社会福祉基礎の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
[指導項目] (1) 社会福祉の理念と意義 ア 生活と福祉 イ 社会福祉の理念 ウ 人間の尊厳と自立 (2) 人間関係とコミュニケーション ア 人間関係の形成 イ コミュニケーションの基礎 ウ 社会福祉援助活動の概要 (3) 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望 ア 外国における社会福祉 イ 日本における社会福祉 ウ 地域福祉の進展 (4) 生活を支える社会保障制度 ア 社会保障制度の意義と役割 イ 生活支援のための公的扶助 ウ 児童家庭福祉と社会福祉サービス エ 高齢者福祉と介護保険制度 オ 障害者福祉と障害者総合支援制度 カ 介護実践に関連する諸制度	(1) [指導項目]の(3)については、欧米や日本において社会福祉思想が発展してきた過程について理解できるよう留意して指導すること。また、地域福祉の考え方や進展、近年の外国の状況などについての学習を通して、国際的な視点で社会福祉を捉えられるようにすること。 (2) [指導項目]の(4)については、日常生活と社会保障制度との関連について考察させるとともに、対人援助の視点から福祉に関する支援が行われる必要性について理解できるよう留意して指導すること。 (3) [指導項目]の(1)については、社会や産業全体の課題及びその解決のために福祉が果たしている役割、働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について扱うこと。 (4) [指導項目]の(1)のアについては、家庭生活の機能や概要、人間の生活と社会との関わり及び少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について扱うこと。イについては、具体的な事例を通して、社会福祉の理念や自立支援と国民生活との関連について扱うこと。ウについては、人間の尊厳と自立支援の必要性について、権利擁護の視点を踏まえて扱うこと。 (5) [指導項目]の(2)のアについては、対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法などについて扱うこと。イについては、対人関係形成のためのコミュニケーションの意義や役割、コミュニケーションの基

	<p>技法などについて扱うこと。ウについては、社会福祉援助活動の意義や役割などについて扱うこと。また、リーダーシップや組織の在り方などチームマネジメントについても扱うこと。</p> <p>(6) [指導項目]の(3)のアについては、英国やアメリカ合衆国における社会福祉思想の発展の概要、スウェーデンやデンマークなどにおける社会福祉思想及びアジア地域の福祉の状況などについて扱うこと。イについては、日本における社会福祉思想の発展について具体的に扱うこと。ウについては、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の意義や役割について具体的に扱うこと。</p> <p>(7) [指導項目]の(4)のアについては、日本の社会保障制度の意義や概要について、日本国憲法と関連付けて扱うこと。イについては、生活保護制度を中心に公的扶助について扱うこと。ウについては、子育て支援、少子化対策についても扱うこと。エについては、高齢者を支える社会福祉サービスについて、介護保険制度と関連付けて扱うこと。オについては、障害者を支える社会福祉サービスについて、障害者総合支援制度と関連付けて扱うこと。カについては、保険や医療の諸制度、医療関係者、医療関連施設などを取り上げ、社会福祉施策と関連付けて目的や役割について扱うこと。</p>
--	---

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目		対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a	対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法及びチームマネジメントについて取り上げているページ数及び全体に占める割合	第1章 総説 第2章 福祉科の各科目 第1節 社会福祉基礎	ページ、%
b	高齢者及び障害者を支える社会福祉サービスについて取り上げているページ数及び全体に占める割合	内容の取扱い	ページ、%
c	発展的な内容を取り上げている箇所数	総則	個

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b、c の関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法及びリーダーシップや組織の在り方などチームマネジメントについて取り上げている内容
- b 高齢者及び障害者を支える社会福祉サービスについて取り上げている内容
- c 発展的な内容の概要

<その他>

- * 防災や自然災害の扱い
- * オリンピック、パラリンピックの扱い

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 今後の対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法に関する内容及び今般の改訂で内容として取り扱われているリーダーシップや組織の在り方などチームマネジメントについて調査する。

- ・ 今般の改訂では、地域共生社会の実現に向けた地域福祉について内容を取り扱われており、高齢者を支える社会福祉サービスについて、介護保険制度と関連付けて扱うこと、障害者を支える社会福祉サービスについて、障害者自立支援制度と関連付けて扱うこととあることから、高齢者及び障害者を支える社会福祉サービスに関する内容について調査する。
- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容について取り上げている箇所について調査する。
- * 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- * 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② ユニバーサルデザインの視点
- ③ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(社会福祉基礎)

調査項目			a		b		c	個
			ページ	%	ページ	%		
発行者	教科書番号	教科書名						(全体のページ数)
実教	701	社会福祉基礎	40	16.3	80	32.5	0	246
平均値			40.0	16.3	80.0	32.5	0	246

- ・全体のページ数は、巻頭・巻末資料を含めて数えている。
- ・aの「対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法及びチームマネジメントについて取り上げているページ数」は、巻頭・巻末資料を含めている。
また、割合については、全体のページ数に対するページの割合を、小数第2位を四捨五入して求めた値である。。
- ・bの「高齢者及び障害者を支える社会福祉サービスについて取り上げているページ数」は、巻頭・巻末資料を含めている。
また、割合については、全体のページ数に対するページの割合を、小数第2位を四捨五入して求めた値である。。
- ・cの「発展的な内容を取り上げている箇所数」は、学習指導要領で扱う内容以外の発展的な内容について扱っている題材・項目等を数えた。

「別紙2-1」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】 (社会福祉基礎)

a 対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築するための技法及びチームマネジメントに関する内容	b 高齢者及び障害者を支える社会福祉サービスに関する内容
<p>社会福祉の理念と意義 (P7:1)</p> <p>3 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造</p> <p>3 新たな福祉社会の構築に向けて (P28~29:2)</p> <p>編末問題 (P30~31:2)</p> <p>人間関係とコミュニケーション (P167:1)</p> <p>1 コミュニケーションの基礎 (P168~171:4)</p> <p>1 コミュニケーションの意義と役割</p> <p>2 コミュニケーションの手段と方法</p> <p>2 支援における人間関係の形成 (P172~175:4)</p> <p>1 傾聴・受容・共感の姿勢</p> <p>2 利用者理解と支援者の自己理解</p> <p>3 社会福祉における支援活動の概要 (P176~185:10)</p> <p>1 個人に対する支援活動とその方法</p> <p>2 グループや家族に対する支援活動とその方法</p> <p>3 地域を基盤としたソーシャルワーク</p> <p>4 チームワークとリーダーシップ</p> <p>5 福祉・介護人材の養成とキャリア形成</p> <p>編末問題 (P186~187:2)</p> <p>スタディ ボランティア活動に挑戦してみよう (P188~189:2)</p> <p>スタディ 面接のロールプレイングをやってみよう (P190:1)</p> <p>地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 (P191:1)</p> <p>2 地域福祉の進展と地域の将来</p> <p>1 つながりの再構築と社会福祉の役割 (P202~203:2)</p> <p>2 地域社会とボランティア (P204~205:2)</p> <p>4 福祉のまちづくりと地域社会 (P208~209:2)</p> <p>編末問題 (P212~213:2)</p> <p>スタディ だれもが住みやすい理想的なまち(地域)とは? (P214~215:2)</p>	<p>社会福祉の理念と意義 (P7:1)</p> <p>1 生活と福祉</p> <p>5 人の一生と社会福祉 (P16~17:2)</p> <p>2 社会福祉の理念</p> <p>3 地域生活と社会福祉 (P22~23:2)</p> <p>3 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造</p> <p>1 人間としての尊厳 (P24~25:2)</p> <p>2 自立生活支援 (P26~27:2)</p> <p>編末問題 (P30~31:2)</p> <p>スタディ 私たちのまちについて調べてみよう (P34:1)</p> <p>社会福祉の歴史と次代の展望 (P35:1)</p> <p>1 諸外国における社会福祉</p> <p>5 北欧の社会福祉(スウェーデン、デンマーク) (P44~45:2)</p> <p>2 日本における社会福祉</p> <p>4 戦後対策としての社会福祉の構築 (P56~57:2)</p> <p>8 障害者福祉のさらなる充実をめざして (P64~65:2)</p> <p>9 次代に向けた新たな社会福祉の挑戦 (P66~67:2)</p> <p>編末問題 (P68~69:2)</p> <p>生活を支える社会福祉・社会保障制度 (P73:1)</p> <p>1 社会保障制度の意義と役割</p> <p>2 社会保障の各制度の概要 (P76~77:2)</p> <p>2 子どもの家庭福祉</p> <p>7 障害のある子どもへの支援 (P92~93:2)</p> <p>3 障害者福祉 (P96~117:22)</p> <p>1 障害者福祉とは</p> <p>2 障害の社会モデルとICF</p> <p>3 障害者の現状と生活のしづらさ</p> <p>4 障害者福祉の理念</p> <p>5 障害者福祉を支える法制度</p> <p>6 身体障害者の現状と支援</p> <p>7 知的障害者の現状と支援</p> <p>8 精神障害者の現状と支援</p> <p>9 発達障害者の現状と支援</p> <p>10 障害者総合支援法の現状と課題</p> <p>11 障害者福祉の今後のあり方</p> <p>4 高齢者福祉と介護保険制度 (P118~139:22)</p> <p>1 日本が直面する人口構造の高齢化</p> <p>2 高齢者の生きがいと健康づくりに向けて</p> <p>3 介護保険制度の誕生</p> <p>4 介護保険制度の見直し</p> <p>5 高齢者の在宅サービス(福祉系)</p> <p>6 高齢者の在宅サービス(医療系)</p> <p>7 地域密着型サービス</p> <p>8 介護保険施設</p> <p>9 老人福祉施設と高齢者向け住宅</p> <p>10 認知症ケアの充実に向けて</p> <p>11 高齢者福祉の将来~地域包括ケアシステムの実現に向けて~</p> <p>6 国民の生活を支える社会保険制度</p> <p>3 後期高齢者医療制度 (P152~153:2)</p> <p>編末問題 (P160~161:2)</p> <p>巻末資料 介護保険制度における介護サービスなど (P226~227:2)</p> <p>巻末資料 障害福祉サービス (P228~229:2)</p>

「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c 発展的な内容の概要】 (社会福祉基礎)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	701	社会福祉基礎	無			

「別紙2-3」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】 (社会福祉基礎)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	701	社会福祉基礎	有	P50～51 本文・注釈 P53 写真 P188 本文・写真 P209 本文	災害 災害 災害 自然災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の発生により、多くの困窮者や孤児が発生したことを説明している。 ・台風で被災した電車を利用した方面委員出張所を写真で示している。 ・災害時の被災地でのボランティア活動を取り上げ、ボランティア活動について説明している。 ・災害時に避難ができるように安心・安全な環境を作り、日頃から避難における街づくりや協力体制について説明している。

「別紙2-4」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 オリンピック、パラリンピックの扱い】(社会福祉基礎)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	701	社会福祉基礎	無			

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(社会福祉基礎)

発行者	教科書 番号	教科書名	構 成 上 の 工 夫
実教	701	社会福祉基礎	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編の冒頭に、各章に関する〇×クイズが示されている。 ・各見開きページの各所に、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「話しあってみよう」と題した発問が示されている。 ・各編末に、編末問題を示すとともに、「まとめてみよう」が示されている。 ・各ページに、知識理解を促す「豆マーク」、法令等が掲載された「ふくろうマーク」、事例や読み物が掲載された「鉛筆マーク(コラム)」が示されている。 <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。 <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし